

岐阜県の プラスチック

- ・平成24年度工業組合総会を開催。事業計画と予算決める。
- ・総会後の講演は『ちょきんの話』（6～7ページに要旨紹介）
- ・県産業技術センターの環境・化学部が研究成果を発表
- ・射出成形の技能検定に1級41人、2級68人が受検
- ・役員と賛助会員の会社紹介

新年度の初行事『講演会』



「明るい兆しを見据えて進もう」

児玉理事長が一層の経営努力を呼びかける

岐阜県プラスチック工業組合は5月21日午後、ホテルグランヴェール岐山で『第44回通常総会』を開催した。総会議案は①平成23年度事業報告と収支決算②平成24年度事業計画と収支予算③平成24年度賦課金及び納入方法④平成24年度取引金融機関及び借入金最高限度額一で審議の結果、4議案を原案どおり承認した。

総会後の講演会は『ちょきんの話ー寝たきり老人にならないために』をテーマに朝日大学経営学部の山本英弘教授から『貯金』ではなく『貯筋』の話聞いた。山本教授は「従業員を預かる経営者こそ老化を防ぐ筋力トレーニングに励んで欲しい」と呼びかけた。

来賓を招いて 祝辞をもらう

新年度総会は大野副理事長の開会あいさつで始まり児玉理事長が「国内景気は立ち直りかけたが、経営環境はいぜんと厳しい。樹脂原料の高騰、電力需給と料金問題、それに円高が加わって厳しさは続く。足元の少しでも明るい兆しを見据えた経営方針を立てて進みたい」とあいさつした。続いて来賓を代表して服部清商工労働部次長と猿渡要司中小企業団体中央会専務理事から激励の言葉をもらった。

厳しさはまだまだ続く

児玉理事長が課題と方向示す

児玉理事長は企業を取り巻く経済環境について「政府が発表した国内景気の指標、国内総生産（GDP）の1～3期は前期比で1.0%増、年

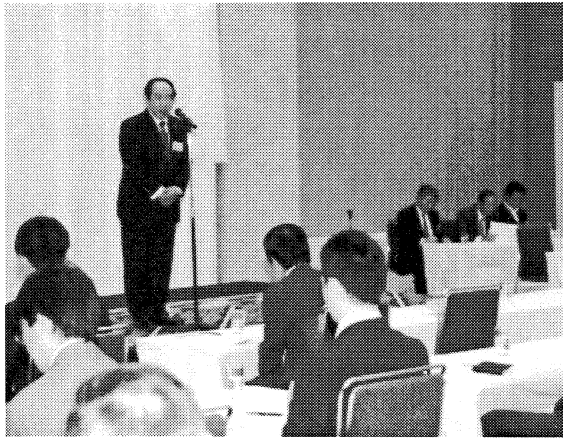


第44回総会で業界の課題と方向を示した児玉理事長

率では4.1%増の回復軌道にあるという。しかし、内容はエコカー補助金に支えられた個人消費と東日本大震災復興需要の公共投資によるもので、中小企業が期待していた設備投資によるものではない。産業界は業界全体を潤す設備投資やインフラ投資を期待しており、景気が底堅いうちに新たな施策や成長策を打ち出して欲しい」と要望した後、業界の動向を

「昨年秋口から、これまで成長一筋だった電

服部商工労働部次長



子や電機産業が落ち込み、産業界全体の足を引っ張っている。プラスチック業界も原油高騰の影響をもろに受けて原材料は高騰し、製品転嫁できず、経営は苦境にある。それに電力需給の問題が加わる。中部電力管内の工場は量的に問題はないが、燃料調整費ということで料金が相当上がっている。電力受給と料金問題は、産業界全体のことなので製品価格への転嫁はできず、経営の先行き不安材料になってきている」とし、さらに新年度の課題は、

「産業界を取り巻く環境は厳しい、厳しい、不透明だ、先が見通せない、とばかり言っているのは先へ進めない。足元の少しでも明るい兆しを見据えて経営方針を立て、進んで行きたい。総会席上に多くの来賓をお招きしたが、なお、厳しい時代が続くと思いますので、ご協力をお願いいたします」とあいさつした。

資金と技術両面から支援

服部商工労働部次長のあいさつ

服部商工労働部次長は「日本経済は若干良い方向へ進んでいるとされるが、震災復興や電力問題、さらには欧州不安に円高などと、地方の中小企業は厳しい環境に追いやられている。岐阜県としては震災を契機に防災体制を整えることを第一としている。加えて経済情勢にどのように立ち向かうかということです。とくに今日

猿渡中小企業団体専務理事



の円高を逆手にとって海外展開を図り、さらに県産品の品質を一層向上させていきたい」とし、さらに

「施策としては資金面の支援と見本市へ積極参加してビジネスマッチングに手を差し伸べていきたい。技術面ではものづくり支援に力を入れ、すでに関市の機械材料研究所では“ぎふ技術革新センター”の運用を開始している。その成果はすでに表れ、200企業が参加し、6,000件の産学官共同研究事業が進んでおり、内外から期待されている。全県あげてのイベントとしては9月末から“ぎふ清流国体”を主催し、全国から選手、関係者や参観者を迎えるが、これを機会に県産業・県産品を広く発信していきたい」と支援を約束、激励した。

中小の景気調査に明るさ

猿渡中小企業団体中央会専務理事

猿渡中小企業団体中央会専務理事は「中央会は毎年県内70業種の景気動向を調べているが、この4月はマイナス16ポイントを記録、久しぶりにマイナス10ポイント台へと回復し、県内中小企業にもやっと明るさを感じられるようになってきた。プラスチック業界はどの産業とも関連するものづくり産業の柱であり、ますます充実した事業を展開し、中小企業の模範になって欲しい」と呼びかけた。

新事業と新予算を可決

一般予算の総額は1,490万円

総会議案は最初に①平成23年度事業報告と1,442万余円の収支決算②7項目の平成24年度事業計画と総額1,490万円の事業予算③平成24年度賦課金及び納入方法④平成24年度取引金融機関及び借入金最高限度額一の議案説明と審議の後、可決した。



求められる新事業分野の展開

新年度事業方針は「プラスチック業界は新たな分野（ロボット、航空機産業、医療機器、建築関連）を広げるか、技術を高めるか、新展開が求められている」とし、

①外部からの知恵の導入、産学官との連携強化を図り、新技術の動向や情報を得る②良い製品づくりへの環境整備③社会的信頼を確保するため環境問題に取り組む④組合活動の意義を含め、原点に立ち返って再検討する一などを基本方針に進めていく。

事業計画の主な内容は次のとおり。

技能アップへ検定事業を推進

《指導教育事業》①国、県、中小企業団体中央会、その他産学官等の関連機関と連携を図りながら、組合員のための研修会、講演会、セミナーを積極的に開催推進する。

②技能労働者の技術向上のため「技能検定」の実技を受託実施する。

◇プラスチック成形射出成形作業

◇プラスチック成形用金型製作作業

◇プラスチック成形ブロー成形作業

◇その他関連職種（フライス盤、プラント製

図・機械製図CAD作業）の申請受付業務も行う。

③技能検定試験の合格率向上のため各職種ごとに予備講習会を実施する。

④射出成形初任者研修会を実施する。

⑤経済、技術、環境などに関する講演会開催

⑥廃プラスチック処理対策検討委員会開催。

⑦中小企業雇用促進関連機関との連携調整。

⑧先進企業の視察研修または技術専門展などの視察を実施する。

⑨樹脂成形技術研究会（主催はNPO地域産業支援ネットワーク）を支援する。

労働保険の事務代行事業実施

《情報提供事業》①会報「岐阜県のプラスチック」を発行し、組合情報を提供する。

②国、県、関係団体からの関連情報を組合員に提供する。

③インターネット・ホームページを随時更新していく。

《事務代行事業》①組合員企業の労働保険業務を、組合が変わって行うと共に勤労者福祉を支



前頁と上の写真は総会と講演会後に開催した来賓・賛助会員との懇親会

援し、労働保険の未適用事業所の適用促進を図っていく。

《調査研究事業》 変革する社会情勢の中で適切な情報、施策を提供するために必要な調査・情報の収集を実施する。とくに廃プラスチック問題など地球環境に関して引続き留意、調査していく。

《福利厚生事業》 組合員の親睦と交流・連携を促進するため、次の事業を実施し、組合の円滑な運営と組織の強化・活性化を図っていく。

- ◇組合員の「健康づくり親睦ゴルフ大会」
- ◇組合関係者全員による交流会を設営。
- ◇組合員の慶弔見舞い

《定例役員会等の開催》 ①当面する組合懸案事業の処理、各役員間の情報交換など円滑な組合運営を図るため、原則として隔月に定例役員会を開催する。

②財務検討特別委員会を必要に応じ随時開催する。

中部日本プラ協と連携深める

《その他》 (社) 中部日本プラスチック製品工業協会等の業界関係団体と連携を深めていく。

平成24年度月別事業実施計画の概要

《平成24年6月》

- ・ プラスチック射出成形作業技能検定（成形機操作説明会、技能確認講習会、実技試験）実施スケジュールは10ページに紹介。会場は岐阜県産業技術センター。
- ・ 会報発行。

《7月》

- ・ 第3回理事会（下旬）

《9月》

- ・ 第4回理事会（下旬）
- ・ 会報発行

《10月》

- ・ 組合員関係者の「健康づくり親睦ゴルフ大会」開催（下旬）
- ・ プラスチック射出成形初任者研修会。

《11月》

- ・ 視察研修事業の実施（工場見学）

《12月》

- ・ 第5回理事会及び役員懇談会（初旬）
- ・ 「事業者台帳」に関するアンケート調査（全組合員対象）
- ・ 会報発行

《平成25年1月》

- ・ 第6回理事会（中旬）
- ・ 新年互礼会（中旬）
- ・ ブロー成形作業技能検定（講習会1月下旬、実技試験2月初旬、場所は神戸町のコダマ樹脂工業（株））

《2月》

- ・ プラスチック成形用金型製作作業（講習会1月下旬、実技試験2月下旬、場所は大野町の東海職業能力開発大学校）

《3月》

- ・ 会報発行・業界団体懇談会開催（未定）

「貯筋」は「貯金」ではなく筋肉を蓄えること 経営者こそ老化を防ぐ筋力トレーニングが必要

工業組合は総会后に朝日大学経営学部の中本英弘教授を招いて「ちょきんの話～寝たきり老人にならないために」をテーマに講演を聞いた。(表紙の写真は講演する山本教授)

元気に生き抜くトレーニング

◎…「ちょきん」と言ってもお金を貯める「貯金」ではなく「貯筋」です。身体は20歳までは発達するが、特別なトレーニングをしない限り衰退の一途をたどる。「寝たきり老人」になる主原因は、寝たきりの間に立ち上がるのに必要な筋肉量が減少するからだ。とくに下半身(太もも)の筋肉が減少して歩けなくなる。

人の身体の発育・発達は20歳がピーク。その後は病気でなくても筋力・持久力・敏捷性などの身体機能の老化(加齢現象)が始まってくる。老化速度は50歳で中学3年生、80歳では小学4年生程度まで低下するとされる。

筋肉を構成する二つの筋線維

老化現象は誰もが避けて通れない下り坂。この坂道を何もせず自然に身を任せている人と健康を意識して身体を動かしている人とは、下り坂の傾斜が異なってくる。少しでも緩やかな

下り坂道にしようとする努力がアンチエイジング(抗老化)につながってくる。

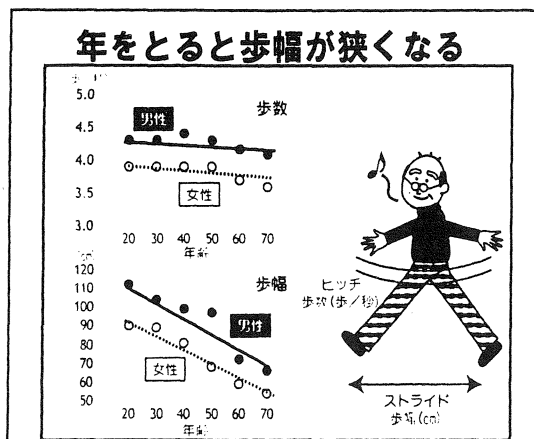
現代では筋力を高めるための筋力トレーニングの必要性が叫ばれているが、一般的には散歩やジョギング。その筋肉を構成する「筋線維」には異なるタイプがある。赤みをおびた赤筋線維(長時間の動きが得意)と白っぽい白筋線維(素早い動きが得意)の二種類で、両者の速度の配分で筋肉を構成している。

年齢と共に退化する白筋線維

例えばマラソン選手は持久力を保つ赤筋線維を多く持った人、ハンマー投げなら瞬発力のある白筋線維を多く持ったタイプに分かれる。

普段の生活の中で散歩や長時間続けられる作業をしている時は主に赤筋線維が働き、つまづきそうになって転ばない様に踏み出す瞬間や階段を駆け上がる時は白筋線維が働く。

赤筋線維は日常生活が適度な負荷になり得るが、白筋線維には負荷としては軽すぎ、年齢と



骨は生きている!

骨芽細胞 (建築業者) 破骨細胞 (解体業者)

2年半で全身をリフォーム
当然カルシウムの摂取が必要

刺激(微弱電流)がないとサボる 刺激がなくとも黙々と働く

骨粗鬆症

だから重力や運動による刺激(衝撃)が必要
無酸素運動(anaerobics: アネロビクス)

講演は先端樹脂「連続繊維熱可塑性材料」の紹介 県産業技術センター 研究成果発表会と講演会を開催

岐阜県産業技術センターは4月20日講堂で「環境・化学部研究成果発表会と講演会を開催した。発表会は傍島章所長の「研究成果を活用し、企業の生産性向上に結びつける架け橋になりたい」のあいさつで始まり、最初にサンワトレーディング代表の馬場俊一氏が「先端樹脂・連続繊維熱可塑性材料」について講演、続いて研究成果3テーマの発表があった。

独・ボンド社開発のTEPEX

連続繊維熱可塑性材料は独・ボンド社が製造開発した『ティーベックス (TEPEX)』。馬場講師は「25通り以上の繊維／熱可塑性樹脂を組み合わせ、連続ラミネート技術によって開発した先端材料で、優れた強度と剛性、軽量化を実現している。成形方法はマッチプレス成形、ダイヤフラム成形、圧縮成形、射出成形などコストメリットのある熱成形ができる」と前置きして新材料を紹介した。

ティーベックスの材料構成はガラス、カーボン、アラミドの連続強化繊維にPP、TPU、PA12、PA6、PA66、PPSなどの熱可塑性機能性樹脂を含浸させて高圧加工した単体のラミネート板。幅はスタンダードが620^{mm}と880^{mm}で、連続加工のためロールなどリクエストにも対応できる。

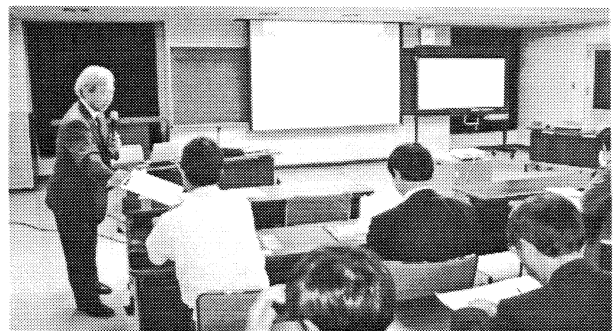
同時に射出成形と圧縮成形

ティーベックスには3つの材料タイプがある。「軽量で高強度な材料」はナイロンなどエンジニアリング樹脂を含浸させた連続強化繊維の積層板で一般産業、自動車部品、スポーツ用品から身体保護用プロテクター、装具、留め具など幅広い用途がある。「防弾用材料」はアラミド繊維を含浸させた防弾システム用にデザインしており、あらゆるプロテクト製品に応用できる。「圧縮成形用の材料」は長繊維 (30^{mm} - 50^{mm}) にエンジニアリング樹脂で構成し、圧縮成形用

材料で構造体の補強部分やリブに適している。成形時の特徴は加熱処理後60秒以内で成形でき、同時に射出成形と圧縮成形が行える。この組み合わせにより、部分的な補強や高強度のジョイントを一工程で成形加工できる。

一般的な成形方法としては①ゴムと組み合わせたマッチプレス成形②簡単な形状に適するダイヤフラム成形③成形品の細部の厚みをコントロールできる圧縮成形④射出成形と圧縮成形を同時に行えるハイブリッド成形—がある。

馬場さんは「品質や機械的特性、プロセスと経済性、リサイクルができる優れた機能性樹脂を活用して欲しい」と呼びかけた。(問い合わせ各務原市鵜沼川崎町、電話058-389-4511)



上は講演する馬場講師。下は挨拶する傍島所長

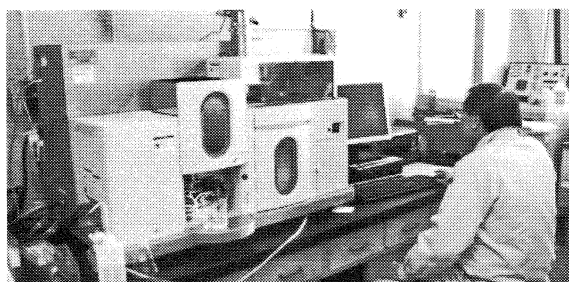
環境・化学部の前年度研究成果 先端技術3テーマを発表

次は環境・化学部が取り組んだ研究開発3テーマの概要で研究チームの代表が発表した。

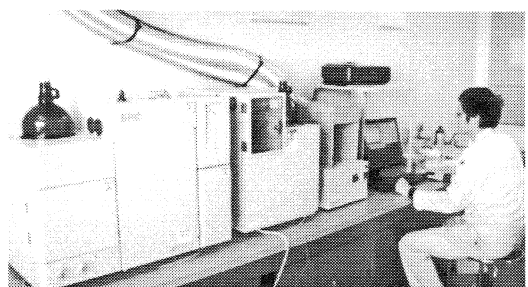
《熱的・機械的特性に優れたバイオマスプラスチック複合材料の開発研究》バイオマスプラスチックの耐熱性向上のため、表面処理したベーマイトファイラーが及ぼすポリ乳酸複合フィルムの熱的挙動を検討した。実験ではポリ乳酸/ベーマイト複合フィルムを作製し、示差走査熱量測定装置を用いて非等温・等温結晶化を測定した。

この結果、ベーマイト処理したポリ乳酸複合フィルムは他と比較し、結晶化時間が増加しておらず、結晶化が促進したと考えられる。

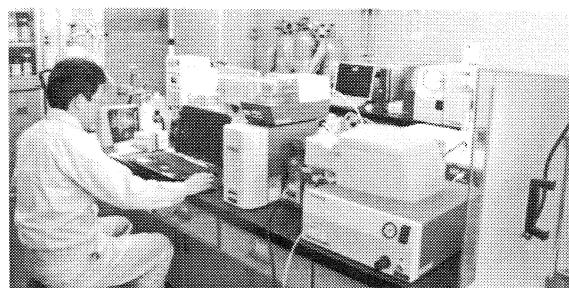
《表面処理によるプラスチック材料への光触媒機能性付与技術の開発》光触媒カーテン・不織布の耐久性・難燃性等の性能向上と光触媒機能



原子吸光分光光度計



高温ゲルパーミエーションクロマトグラフ



粒度分布測定システム

を付与したポリプロピレンフィルムの開発と機能性評価について検討した。

これまでの光触媒ポリエチレンフィルムの難燃化に続いて、光触媒ポリプロピレンフィルムの難燃化や機能性付与を図った。この結果、光触媒ポリプロピレンフィルムのアセトアルデヒドガスの分解能力は高く、消臭機能に加えて抗菌効果も得られた。今後は商品化に向け、一層の難燃化と耐久性の向上をめざす。

《回収プラスチックの再資源化技術の開発第2報・リサイクルPETシートの白化原因究明》リサイクルPETフィルムの成形加工中に発生した白化現象（臭気発生、成形不良、金型や装置の腐食など）の原因追求のため、各種分析機器を用いて検討した。材料シートは成形工程の裁断端材を再利用した中層の両面に、バージン材料を貼り合わせた三層構造材で、真空成形を繰り返して白化現象を発生させた。

正常品と不良品を各種分析機器により比較した結果、不良品には正常な規格品には無い結晶化が起き、重量平均分子量の低下も認められた。したがって白化原因は、材料の分子量低下による結晶化温度の低下によって引き起こされ、白化が進行したことが示唆された。

新設した3機器の見学会も実施

各企業に機器の利用を呼びかける

産業技術センターは講演会と発表会の後、新設機器（写真左）の施設見学会を行なった。

新設機器は、試料に含まれる元素の定性や定量分析する「原子吸光分光光度計」。ポリマー特有の性質、構造を調べる「高温ゲルパーミエーションクロマトグラフィー」。二通りの粒度を測定できるレーザー回析装置「粒度分布測定システム」の3機器。センターでは各企業に機器の利用を呼びかけている。

射出成形の実技検定は1級2級合わせ109人

「前期技能検定は6月19日から8月3日まで28日間」

工業組合が県職業能力開発協会から受託実施している平成24年度前期技能検定『プラスチック射出成形作業』の実技検定は6月19日から28日間、前年同様に県産業技術センター実験室で行う。実技検定にさきがけ5月28日には各務原市にあるテクノプラザ本館プラザホールで知識説明会を開催し、続いて会場を産業技術センターに移して操作実技説明会と技能確認講習会を開始している。

実技の受検は1級41人2級68人

今年度のプラスチック射出成形作業の受検者は組合員企業、員外企業、個人から学科・実技合わせて126人にのぼった。このうち実技受検者は1級41人（学科と実技23人、実技のみ18人）2級は68人（学科と実技44人、実技のみ24人）の109人で、前年同様の高水準となった。

今年度の特色は1級実技が過去最高人数を記録したこと。これは①2級検定合格後、実務経験など1級受験に必要な資格を得た技術者が増えた②企業側も不況時こそ技術のレベルアップを図ろうとして1級受験を奨励している③金型、電機、自動車関連など員外企業からの受検者が増えたことがあげられる。

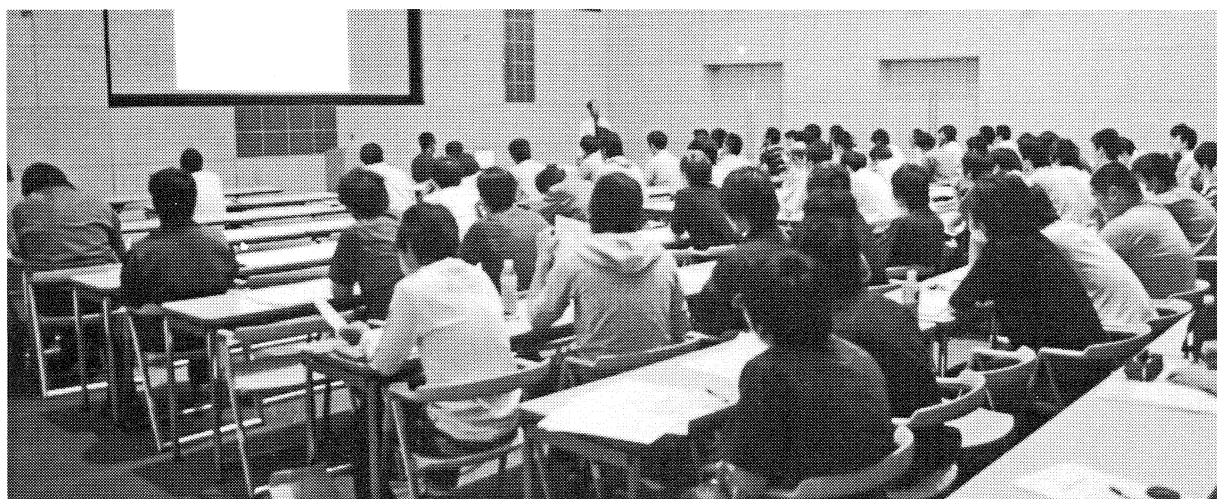
実技検定にさきだつ知識説明会は5月28日テ

クノプラザの4階プラザホール（今年は会場変更）で開いた。初受検者を含めて71人が参加し、井藤検定委員長は「検定に勝つには習得した技術と知識をフルに発揮し、時間を無駄にせず、成形作業に取り組むこと」と激励した。

9月28日（金）に合格者の発表

説明会では各担当者から①受験の留意事項②成形条件、その他③成形材料及びクレーンの取り扱い④不良成形品とは⑤日精・住友成形機の取り扱い—をテーマに聞いた。

操作実技説明会は5月29日から6月6日までの6日間の午前と午後2回に分け、産業技術センター実験室で行った。実技受検者全員が9人～10人の12グループに分かれ、メーカー担当者から検定機種の手順を聞いた。



射出成形の受験者は今年も高水準。テクノプラザに集まった各企業の若き技術者

実技検定は日精、住友の2成形機を用い109人が6月19日から8月3日までの28日間（いずれも土、日、月曜日を除く）の午前と午後に分かれ、1日4人ずつ実施する。採点は8月6、7日に行い、8月19日（日）の学科試験の後、合格者発表9月28日（金）に予定される。

希望者対象に技能確認講習会

工業組合は実技受検者から希望を募り6月7日から7日間、産業技術センターで技能確認講習会（費用は実費）を開催する。

今年の参加者は28人で、1日4人が日精と住友の機種に分かれて一人3時間操作する。講習会は各企業で使用する機種と検定機種が異なるため「実際に成形機を操作し、検定時のミスや不慣れによる時間ロスを解消する訓練」で本

検定に備えることにした。

ブロー成形で4人合格

後期技能検定・特級は2人合格

平成23年度後期技能検定の合格者発表があった。ブロー成形では8人（うち1級2人）が受検し4人合格、またプラスチック成形特級では13人が受検し2人合格した。次は合格者。

《プラスチック成形特級》

◇中井 祐治（岐阜プラスチック工業（株））

◇宇野 篤（（株）東海化成工業所）

《プラスチック成形ブロー成形作業2級》

◇八橋 拓也（コダマ樹脂工業（株））

◇佐藤 茂（コダマ樹脂工業（株））

◇伊藤 洋輝（コダマ樹脂工業（株））

◇宗宮 充明（コダマ樹脂工業（株））

名古屋プラ工業展開催

10月2日からポートメッセなごやで

『名古屋プラスチック工業展』と『機能材料技術展』が10月2日（火）から3日間、名古屋国際展示場ポートメッセなごやで開催が決まり「震災・円高不況を吹き飛ばそう」と準備が進んでいる。右は開催案内のポスター。

プラスチック展は中部プラスチック連合会、中部日本プラスチック製品工業協会、日刊工業新聞社が主催、また機能材料技術展は日刊工業新聞社が主催する。プラスチック工業展は中部経済産業局などが後援、中部各県のプラスチック関連団体が協賛、当工業組合も協賛する。

名古屋プラスチック工業展は「次世代産業を見据えた高機能化…プラスαチックな社会を目指して」をテーマに、各種成形機をはじめ関連機器を一堂に集めて技術交流と市場開拓を図り、地域産業界の復興に役立てていく。

機能材料技術展は次世代に貢献する新機能材料やその加工技術を展示し、先進的な機能材料の技術交流を図る。



円高不況克服、プラスチック業界の
飛躍めざそう

養老インターチェンジの建設工事



東海環状と名神自動車道を結ぶ

岐阜県プラスチック工業組合 役員一同



コダマ樹脂工業株式会社

代表取締役社長 児玉 栄一

本社 岐阜県安八郡神戸町末守 377 の1
電話〈0584〉27-4141

支店 東京、大阪

営業所 本社

工場 本社、横井、熊本、栃木、池田

ポリエチレンチューブ
農業用ポリエチレンフィルム



株式会社 東海ポリエチ工業所

代表取締役社長 大野 實

本社工場 岐阜県羽島郡岐南町野中7丁目129番地 〒501-6004
TEL (058) 246-1313 番(代)
FAX (058) 247-2411 番

名古屋営業所 名古屋市西区城西5丁目5番4号 〒451-0031
TEL (052) 521-9296 番(代)
FAX (052) 532-1664 番

浜松事業所 浜松市西区入野町6056 〒432-8061
TEL (053) 447-2511 番(代)
FAX (053) 447-4248 番

業務用食器一式・製造卸・治工具金型設計製作



大垣プラスチック工業株式会社

代表取締役

日比勝次

本社工場 大垣市大島町2丁目394番地
〒503-0001 ☎(0584)81-1347(代)
精工部 ☎(0584)75-0333(代)
FAX(0584)81-1350

E-mail : ogaki-pla@okbnet.ne.jp



代表取締役

杉山元彦

各種プラスチック真空成型加工

パール化成株式会社



本社・工場 〒501-0473 岐阜県本巣市温井243-3
TEL(058)324-9155(代) FAX(058)324-6221
岐阜工場 〒500-8256 岐阜市八坂町40番地の1
TEL(058)271-0861(代) FAX(058)275-0970
E-mail info@pearl-kaseihin.co.jp
URL http://www.pearl-kaseihin.co.jp/

アテナ工業株式会社

代表取締役社長

下野 泰輔

■本社・工場 岐阜県関市下有知5601番地の1
TEL(0575)24-2424 (代表)
〒501-3217 FAX(0575)24-0567
URL:http://www.athena-kogyo.co.jp



株式会社 川瀬樹脂工業
エンジニアリング
プラスチック成型加工

代表取締役会長 川瀬 保雄

E-mail:y-kawase@sunthree.co.jp
URL:http://www.sunthree.co.jp

〒503-0011 岐阜県大垣市曾根町1丁目686番地
TEL : 0584-27-2566 FAX : 0584-27-5956

岐阜技研ポリマー
株式会社

代表取締役社長 篠田 治

岐阜市岩地 3-7-15

TEL 〈058〉 246-2541

FAX 〈058〉 246-2081

- 成形事業部
- ギフト事業部
- キャスター事業部



代表取締役社長
林 敬一郎

Sankon 岐阜産研工業株式会社

岐阜県揖斐郡大野町公郷 1400 番地


リスのプラスチック

岐阜プラスチック工業株式会社

代表取締役社長 大松 利幸

本社 岐阜市神田町9丁目27番地(大岐阜ビル12階)
〒500-8721 ☎ <058> 265-2231(代)

生産本部 各務原市前渡東町4丁目222番地
〒504-8702 ☎ <058> 386-9311(代)



関プラスチック工業株式会社
株式会社 **セキパラ**
プラスチック製品成形加工・プラスチック精密金型設計製作

代表取締役
洞 田 禮 彰

〒501-3904 岐阜県関市明生町2-7-10
TEL <0575> 22-4352(代)
FAX <0575> 24-5131
E-mail: office@sekipla.co.jp

ポリエステル、ナイロンをリサイクルする
タナジン®(ナイロン樹脂)
サイクリン® アラフノン® ポピン資材回収




高安株式会社

代表取締役社長 高安 義英
<http://www.takayasu-rf.co.jp>

本社 〒504-0828 各務原市蘇原村雨町3-47 ☎058-382-2231
坂祝工場 〒505-0071 加茂郡坂祝町黒岩1516 ☎0574-26-4171

独創技術で複合材の明日を拓きます



天龍コンポジット株式会社

代表取締役社長 大竹 正泰

〒509-0304
岐阜県加茂郡川辺町中川辺1430番地1
TEL 0574-53-2351
FAX 0574-53-2354



NISSEKI CO.,LTD

プラスチック原料の着色加工

株式会社 **ニッセキ**

代表取締役社長
石原 良美

■本社工場 〒503-0653
海津市海津町内記 194
TEL (0584) 53-0238
FAX (0584) 53-0359
nskknizu@octn.jp



Hachiman kasei co. ltd. plastic products

代表取締役社長
高 垣 美代子

way-be®
sceltevie®

八幡化成株式会社

本社・工場: 〒501-4204 岐阜県郡上市八幡町旭182番地
TEL <0575> 67-1175(F) TEL <0575> 67-1190
FAX <0575> 65-5150

福岡OFFICE: 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅前
2丁目9番13号東福ビル4F
TEL <092> 483-1514 FAX <092> 483-1808

takagaki-m@hachimankasei.co.jp
<http://www.hachimankasei.co.jp>



MUTOH 株式会社 武藤化成工業所

代表取締役 武藤 幸平

本社 〒501-2605 岐阜県関市武芸川町跡部781
TEL <0575> 46-3711 FAX <0575> 46-2285

第2工場 〒501-2605 岐阜県関市武芸川町跡部972
TEL・FAX <0575> 46-2720



ムトー精工株式会社

代表取締役 田中 肇

本社工場 〒509-0147 岐阜県各務原市鷺沼川崎町1-60-1
TEL(058)371-1100(代) FAX(058)371-2593
岐阜工場 〒509-0147 岐阜県各務原市鷺沼川崎町1-93
TEL(058)383-8311(代) FAX(058)383-1516



TOKAIKASEI Inc.

代表取締役 兼
CEO

宇野 兼史

東海化成工業所

本社 〒501-2101 岐阜県山県市大桑4370
TEL(0581)27-2111 FAX(0581)27-2915
○水尾工場 〒501-2101 岐阜県山県市大桑310-1
TEL(0581)22-3302 FAX(0581)22-1288



URL : www.tokaikasei.co.jp E-mail : kenjuno@tokaikasei.co.jp
携帯電話 090-9124-6518



プラスチック原料製造販売
委託加工及びカラーリング

美濃化学工業株式会社

代表取締役 吉田 健司

〒501-3763
岐阜県美濃市極楽寺 1 4 5 1 - 1
TEL(0575)33-1888 FAX(0575)33-1618
E-mail:mk1451@ceres.ocn.ne.jp

岐阜県のプラスチック 2012年 第208号

平成24年 6月 1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番地1号
(岐阜産業会館4階)

電話(058) 272-7173

FAX(058) 276-1525

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 大塚 忠秋

全てのニーズにお応えするJPP
技術力で信頼にお応えするJPP

Excellent Polypropylene

日本ポリプロ株式会社は、全てのお客様の信頼に広範かつ高度な技術力で適確にお応えしてまいります。

ノバテック®PP

卓越した材料設計技術で広範な応用分野のニーズ
にお応えするポリプロピレン

ウィンテック®

独自のメタロセン触媒技術によって開発された
新世代ポリプロピレン

ニューコン®

当社独自の気相重合法によって制御された特異的な
固体構造を有する新規ポリオレフィン系リアクターTPO

ニューストレン®

高い熔融張力を有し、大型ブロー、肉厚シート成形、
異形押出成形が可能な高機能ポリプロピレン

ニューフォーマー®

高い熔融張力と歪み硬化性を有する発泡成形用
ポリプロピレン

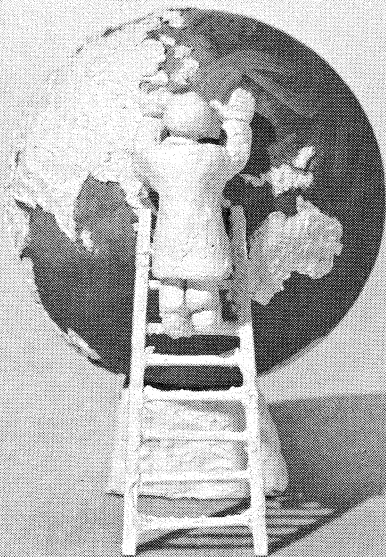
ファンクスター®

射出及び熔融圧縮成形向け高性能ガラス長繊維
強化ポリプロピレン

日本ポリプロ株式会社

〒108-0014 東京都港区芝4丁目14番1号 TEL03-6414-4500

地球快適化研究所。



20世紀から持ち越されたさまざまな問題を解決し、トータルなライフステージを快適化するのが21世紀の化学の仕事です。三菱化学グループは、世界でも比類のない幅広い技術フィールドをカバーする先端技術多面体です。先端機能材料やナノテクノロジー、有機エレクトロニクス、デバイス。ヒューマン・ヘルスケアでは、ゲノム創薬やタンパク質機能解析…など、多数の分野にチャレンジしています。私たちはグループの技術力をベースに、社会のニーズに応えるソリューションを提供しながら、21世紀の夢をスピーディに実現します。

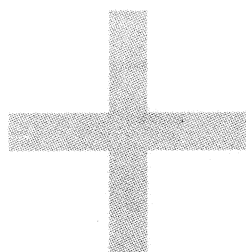
▲三菱化学株式会社
Telephone: 03-6414-3000
URL: <http://www.m-kagaku.co.jp>

ShinEtsu

信越シリコーン

またひとつ、新機能。

【プラスアルファ】



ヒラメキを糧に新たな機能をプラス

信越シリコーン

「こんな素材があったらいいのに!」「こんな機能をプラスできれば!」…そんないくつかのヒラメキに出会い、信越シリコーンはこれまでとは違う個性を持つ、新しい機能を付与した高機能シリコーン製品を開発してきました。これからも、さまざまなご要望にお応えし、お客様の製品に+αの付加価値をつけるシリコーンを提供してまいります。

【新しい機能で製品に付加価値をプラスするシリコーン】

■ 樹脂改質用シリコーン

オイル、パウダー、シランカップリング剤、レジンなど。樹脂に潤滑性・耐摩耗性、耐衝撃性・難燃性・成形性などの付与に
*取り扱いが容易で分散性に優れたシリコーンマスターバレットもあります。

■ シリコーン離型剤

オイル、ペースト、エマルジョン、スプレーなど。
離型性はもちろん、つや出し、表面保護、潤滑性向上などに

■ シランカップリング剤

合成樹脂、塗料、接着剤などの機能向上に

■ シラン

セラミックスの合成、無機物質の表面改質、樹脂改質などに

信越化学工業株式会社

〒450-0002 名古屋市中村区名駅 4-5-28 近鉄新名古屋ビル
名古屋支店 シリコーン部 (052) 581-6515

雨水利用タンク

ホームダム

RWT-250

ご家庭で雨水の有効利用に!

異常気象からの水不足、あるいは集中豪雨…。水の大切さを見直す時が来ていると思います。自然のめぐみ雨水をもっと活かして使うことを考えましょう!!庭の草・花・木への水やり、洗車などまだまだたくさん活用出来ます。



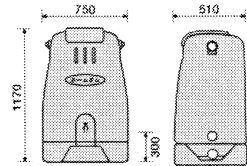
1 専用付属部品で簡単施工
(丸型トイレ用 55%・60%・75%)

2 ドレン付で簡単清掃

3 架台付きです
(別架台はオプション)

4 水道料金の節約
(例) 某市で料金200円/m³を納めている
ご家庭では、
・ホームダム1杯(250ℓ)約50円
・週に2杯溜めると約400円/月
・年間で約4,800円
が節約出来ます。

5 雨水タンク転倒防止用
Uボルト金具付です



■製品仕様

容量	250ℓ
重量	約22kg
材質	超高分子量ポリエチレン



コダマ樹脂工業株式会社

本社 〒503-2393 岐阜県安八郡神戸町末守377-1 TEL(0584)27-4141
本社営業部
容器包材G 〒503-2393 岐阜県安八郡神戸町末守377-1 TEL(0584)27-4992
産業資材G 〒503-2393 岐阜県安八郡神戸町末守377-1 TEL(0584)27-5055

東京支店 〒104-0031 東京都中央区京橋1-16-10(オークビル京橋) TEL(03)3564-5266
大阪支店 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2丁目5番2号(新サンケイビル7階) TEL(06)6341-0015